

京都精華大学大学院 教育の3つの方針（2021年度以前入学生）

※アドミッション・ポリシーのみ2022年度年度以前入学生対象

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

| | | |
|--------|-------|---|
| 認知的領域 | 知識・理解 | 専門領域の歴史と世界的動向を理解している。 |
| | 思考・判断 | 既存の枠組みを超える新しい表現を思考することができる。 |
| 技能表現領域 | 技能・表現 | 状況に応じた、柔軟で応用力のある表現技術を修得している。 |
| 情意的領域 | 関心・意欲 | 自らの独創的な見解を自主的・継続的に 深める姿勢を身につけている。 |
| | 態度 | 社会の一員としての自覚を持ち、他者と協働しながら、社会を改善しようとする態度を身につけている。 |

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

専門知識・技能を体系的に履修するとともに、学際的な分野への対応能力を含めた専門応用能力を培うために、

「共通基盤科目群」「専門特講科目群」「専門研究科目群」の3つの科目群により教育課程を編成する。

- 「共通基盤科目群」では、ジャンルによらず幅広い表現の特性を学びながら、アカデミックな研究・学習の方法、社会における表現の実績的な展開手法を学ぶ。
- 「専門特講科目群」では、専門分野の知識・思考能力の獲得にとどまらず、他研究科が設置する特講科目を横断的に履修し、より広い知見と学識を得る。
- 「専門特講科目群」では、各自の専門的テーマや課題を探求し、修了作品または修士論文の作成に取り組む。一人の学生が複数の教員から指導を得られる体制を整える。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学大学院の各研究科・専攻の専門領域に強い関心を持ち、将来その領域において研究・実践を行う明確な意志を持つ者。